

第3回看護研究会

(中堅看護師教育研修会)

令和3年10月29日(金)

ZoomによるWeb開催

(受講会場：岡山コンベンションセンター)

□ 講演

『コロナによる実習への影響をふまえた育て方のコツ』

講師 京都大学大学院医学研究科 先端看護科学コース
先端中核看護科学講座 生活習慣病看護学分野
研究員 内藤 知佐子 先生

□ 講演

『しなやかな心で生き生きと働く

アクセプタンス&コミットメント・トレーニング (ACT)』

講師 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
精神科 部長 光定 博生 先生

一般社団法人 岡山県病院協会

(注：類似した感想はまとめています。)

第3回看護研究会（中堅看護師教育研修会）アンケート集計（令和3年10月29日）

（38病院 105名出席・86名回答）

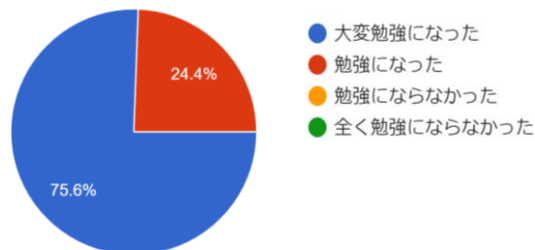
1. 講演『コロナによる実習への影響をふまえた育て方のコツ』を聞いて。

（講師：京都大学大学院医学研究科 先端看護科学コース 先端中核看護科学講座 生活習慣病看護学分野 研究員 内藤知佐子 先生）

A.

a. 大変勉強になった	65名
b. 勉強になった	23名
c. 勉強にならなかった	0名
d. 全く勉強にならなかった	0名

未記入0名



B. 感想や、学べたこと・これから生かせると思ったことがあればご記入下さい。

- ・ とても楽しく聞きやすく参考になるお話だった。正に今悩んでいることをピンポイントで聞くことができ、「承認」明日から実践する
- ・ 学生だけでなく新人教育にも大変役に立つと思い、実践していきたい
- ・ 実習（学生）だけでなく、臨床の場、後輩や先輩に対しての関わりについて分かりやすく説明して下さり、活用したいと思った
- ・ 現在、教育委員で新人、臨床実習指導で学生に関わっていて、一人ひとりの関わり方を学んだ
- ・ 学生だけでなく、新人やスタッフとの関わりにすぐにでも生かせると思った。先生の話がおもしろくて聞きやすい
- ・ 学生指導にも踏まえていきたい
- ・ しなければいけないな—と思った
- ・ 具体的な指導法で、実践できると思った
- ・ 朝の申し送り時の打合せが、具体的で生かせると思った
- ・ 指導コミュニケーションのコツでは具体的な例を挙げてあり、実践してみたいと思った
- ・ 普段自分が感じていることの話が多くあったので、改善できるヒントになった。テンポが良く聞きやすかった
- ・ 考え方を考える
- ・ 発想の転換。考え方一つで見方が変わる
- ・ 自分の考えや行動を言葉にして伝えていけるようにしたい
- ・ 自施設での教育・指導方法のヒントを得た。管理職・ベテラン～中堅・新人や異動者、学生の全てが win-win な関係作りについて考える機会になった
- ・ 新人教育について、分かっているけど実践できていなかったり、ついつい言ってしまうワードがあったので気をつけていきたい
- ・ 新人教育で困っていたところなどについて、これからの関わりを見直せた。教育者が変わっていかないと後輩はついてこないと感じた
- ・ 実習生や新人との関わり方について学んだ。時代が変化してきているので、昔のような関わり方は変えていかないといけない
- ・ 新人のみならず、チームのコミュニケーションでも活かせる内容でとても為になった
- ・ 心理的安全性や承認を高めて実践していく
- ・ 心理的安全、安全基地となり、内省支援をしていきたい

- ・相手に感謝の気持ちを伝えるようにする
- ・ありがとうをもっとたくさん言いたい。お互い承認していききたい。自分の世代の特徴、他の世代の特徴を知っているだけで声かけに役立つ
- ・時代に合わせた教育を教えていただいて、大変勉強になった
- ・時代背景を考えて、指導していく必要があると分かった
- ・自分が今している指導に対して振り返ることができた。世代の特徴に合わせた関わり方については、今後の指導に生かしていきたい
- ・X・Y・Z世代の特徴を知っておくことが大切と思った。ファシリテーターの役割が少し分かった
- ・世代の違いと求められる指導のあり方の違いについて、やる気を出させる言葉の選び方が勉強になった
- ・Z世代の特徴を踏まえて関わっていこうと思った。話しやすさ、人間関係を深めていくことがとても大切だと思った
- ・リアルタイムに新卒者教育中で、新人の傾向も言われたままの状況。吸収してくれるまで時間がかかりそうだが、今回の学びを生かして歩み寄って行けたらと思う
- ・4つの世代の特徴を踏まえて、指導者に求められる7つの心構えを共有していきたい
- ・世代によって捉え方が違うので、自分たちが受けた指導とは異なることや、承認・リフレーミングを取り入れていこうと思った
- ・令和の新人に対して理解が深まった。指導することは、自分が成長できることと改めて感じた
- ・新人さんの特性を知って、育て方を変えていかないといけないと思った
- ・個別性（個々の性格や看護のレベル能力）に合わせた育て方が、やはり必要
- ・コロナ禍、今の学生・新人の特徴を知ることができ、指導方法を変更していかなければならないと思った
- ・コロナ禍で就職してきた新人さんの傾向を知ることができた。関わり方を学ぶことができたので現場で実践していきたい
- ・指導者の7つの心構えをもとに、学生・新人指導に活かしていきたい。病院内で資料を共有し、個人の持つ力を引き出し指導者側も成長していけるといい
- ・病棟でリーダー業務をすることが多くなり、新人指導が負担となっていたため、今後の役に立った
- ・指導してもできていないのは指導者の責任であることが分かった。物事を肯定的に考えるのが苦手なため訓練していこうと思った
- ・コロナ下で実習に影響した上で、現場指導の立場にたち、関わり方について考えさせられた。相手を肯定的に評価していこうと思う
- ・指導側も学び、心の柔軟性を高められるようにしたい
- ・指導をする時に「承認&リフレーミング」を使用して、肯定的に物事を見られるようにしたいと思った
- ・心に残ったキーワード「リフレーミング」
- ・リフレーミング
- ・仕事中「ん？」と思うことがあっても、新人の言動・行動を承認・リフレーミングしようと思った
- ・「承認&リフレーミング」「雑相」「聴す」たくさんの生かしていきたいキーワードがあった
- ・「承認&リフレーミング」日常でも取り入れていきたい。とても楽しかった
- ・承認・リフレーミングの心を持てるように心掛けていきたい
- ・承認からやる気・モチベーションの維持
- ・承認するコツ。自分の教育を振り返ることができた

- ・ 承認やリフレーミング、思考発話など、自分自身に取り組んでいることの意味づけになった
- ・ 学生や新人に対して、承認したりしようと思った
- ・ まず承認して、共に成長していくことの大切さを学んだ
- ・ 後輩が育たないと自分たちの指導ができていないと思ってしまうが、後輩への声かけ、接し方を見直すことができた
- ・ 相手の話を聞き、相手のペースや相手に合ったやり方を考える（個別性）。リフレーミングをし、よい方向に考える
- ・ しっかりと話を聞いて、本人を知ることから始める。ベテランのお姉さんも含めて巻き込んでいく方法なども知れて良かった
- ・ サンドイッチ方式で承認していく
- ・ 手を止めて、学生や後輩の話を聞こうと思う
- ・ サンドイッチ・メソッドを意識して、新入職員に接していこうと思う
- ・ 思考発話と、人を一人前にする学習モデルの実践
- ・ 何となく NG ワードを使っていたり、相手に不安を与える行動もしていたとわかった。承認とリフレーミングの心をもち関わっていこうと思う
- ・ 新人へ指導していく上で大切なこと、育てていく上で自分が見直していく必要があることの大切さ
- ・ 新人に対する教育についての心構えを学ぶことができた。機会があれば実践していきたい
- ・ 新人看護師との関わり方についてよく分かった。朝の打ち合わせ、明日からしていきたいと思う
- ・ 自分たちの態度や言葉一つで、学生や新人のモチベーションが変わってくることを学べた
- ・ 新人の特性、事例を取り入れ具体的に育成方法を示して下さっていたため、とても分かりやすかった。あつという間で、もっと聞きたかった。話も面白くて楽しかった
- ・ 実習ができない学生や、できていない新人さんへの対応がよく分かった。これからの新人や学生に合わせた指導内容の変更が必要だと改めて感じた
- ・ 全くの新人 NS はほぼ入職してこないのので、異動した職員への指導の参考にする
- ・ 異動や、プリセプティが経験年数は下だが年齢は上、ということが多く、「伴走者という立ち位置で関わること」が生かせると思った
- ・ 新人だけでなく同僚を育てるために生かせると思った
- ・ 新人教育や職場での人間関係だけでなく、子育てにも生かしたいと思うことが多くあった

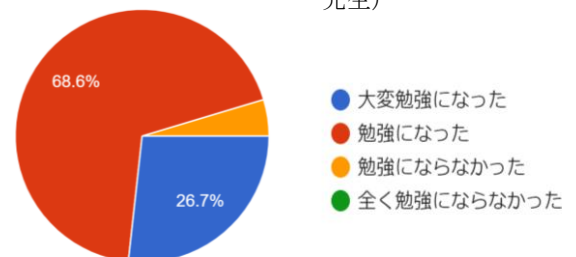
2. 講演『しなやかな心で生き生きと働く アクセプタンス&コミットメント・トレーニング (ACT) 』を聞いて。

(講師：横須賀共済病院 精神科部長 光定 博生 先生)

A.

a. 大変勉強になった	23名
b. 勉強になった	59名
c. 勉強にならなかった	3名
d. 全く勉強にならなかった	0名

未記入1名



B. 感想や、学べたこと・これから生かせると思ったことがあればご記入下さい。

- ・ 楽しく勉強できた。自分の思考に気がつけた
- ・ 改めて自分を振り返ることができた
- ・ 難しかったが、もっと深く学びたい・知りたいと思った。楽しかった
- ・ 勉強不足でとても難しかったが、ACTに興味を湧いた
- ・ 初めてACTについて学び、とても興味がわいた。現場でも実践したいと思った
- ・ 初めて聞くトレーニングだったので勉強になった。ただ難しかったので十分に理解できてないと思う
- ・ ACTは難しかったが、しっかりと読み取っていきいたい。自分をもっと大切にすべきだと学ぶことができた
- ・ ACTを活用することで、自分を大切にしながら働くことができるということで、もう少し学びを深めたいと思った
- ・ ACTは自分をもっと理解すれば、自分も楽になるし看護にも使えると思った。本を読みたい
- ・ 教育委員として指導する立場のため、新人さんや異動された方との関わりに生かしたい
- ・ ACT難しかったが、興味深くお話を聞いた。不安・怒りの感情をコントロールするのではなく、そのままにして大切なことに取り組む
- ・ 自分自身の気持ちのコントロールについて学ぶことは、今まであまりなかったのでとても勉強になった
- ・ 初めて聞く内容だったが所々思い出して生かさせていけたらと思う
- ・ ACTについて知れたので、今から実践していこうと思う
- ・ ACTは全く知らないことだったので、これから学習していきたいと思った
- ・ 難しかったが、気持ちが楽になった・自分を大切にしていきたい(2)
- ・ ACTという言葉は初めて聞き、これから先、家庭や仕事の中で生かせると思った
- ・ しなやかな心で生き生きと働けたら、もっと仕事も楽しくできると思うので、ACTを活用したいと思った
- ・ ACTについて知ることができた
- ・ 自分の考え方を明確にすること
- ・ 考え方のトレーニングで、柔軟性のある生き方につながることを知れて良かった。仕事にも、考え方が変わる・選択肢が増えることで、少しでも活かせるようにしていきたいと思う
- ・ ACTという言葉が初めてで少し難しく感じた。柔軟な気持ちで行動できればと思う
- ・ 初めて聞く言葉で表を考えるのも難しかったが、自分をもっと大切にしたいしなやかな心をもっていけたら良いと思った
- ・ 柔軟な心をもって、仕事に取り組めるようにしていきたい
- ・ 気持ちを柔軟にして物事を考えていこうと思う
- ・ 心理的柔軟性を高めていけるようにしたい
- ・ 柔軟な対応、価値観を持つことは看護師をする上でも日常生活でも重要だと感じた
- ・ 自分は心理的柔軟性が低いことが分かった。私生活でも生かしていきたいと思った
- ・ ACT難しかった。これから自分の気持ちや行動を大切にしていきたいと思う
- ・ まずは自分を大切にすることが大事だと、改めて学べた。ほどよく不安や怒りを持ちつつ、バランスよく組みながら今後働こうと思う
- ・ 自身を大切にしないと周りも大切にできない。心の柔軟性
- ・ 大切なもの、逃避行動、すべき行動などについて少しでも理解できるようになった。自分の価値、柔軟的に考えられるように少しでもトレーニングできたらと思う
- ・ いいイメージを持つこと
- ・ 仕事においても人生においても“自分”

- ・ 自分自身のことを一番に考えないといけないなと思った
- ・ ACTを表にして見える化することで、自分の方向性について改めて考えることができた
- ・ 普段何気なく生活している中で考えることがなかったが、改めてゆっくり自分と向き合うことができたように思う
- ・ シートに記入してみて客観視することで、今の自分の大事にしたいことと行動との矛盾を感じた。コントロールできない部分から、上手に離れていきたいと思った
- ・ 興味があったからかもしれないが、もっと時間をかけてじっくりトレーニングすれば、更に有意義な研修だったのかなと感じた。時間が足りないと感じた
- ・ 自分の中の負の感情を認め、目的や自分の理想に向かっていけるように、少しずつ軌道修正していけたらいいと思った
- ・ 今後のキャリアアップと家族・子育ての両立で悩んでいるが、価値に沿って生きることで、バーンアウトや目標を見失うことなく仕事と人生を続けていくことに生かせると思った
- ・ 少しでもよい行動にするため、考えながら工夫していく
- ・ 自分に気づくこと。マトリックスダイアグラムをもう一度やってみる
- ・ 4つの領域で考えるということが、生きていく上で自分のことを知り、行動の指標になるということが少しだけ分かった
- ・ 今の自分がどの方向へ向かっているか、向かいたいのか、立ち止まって考えるようにしたい
- ・ 目標を設定して、そこに到達するにはどのように考え行動していくか、考え方・実践方法を学ぶことができた
- ・ 関係フレームは意識したことがなかったが、実際そうで、すごいことだと思った
- ・ ACTを用いて自己分析することができた
- ・ ACTにより、今自分が考えていることが目に見えて分かった
- ・ 自己分析をすることで、自分が行動すべきことが見えてくると思った
- ・ 自分を客観的に見てみる
- ・ 自分を客観的に見ることで、他の人の事がよく理解できたり見えたりできるという先生の言葉が印象に残っており、改めて自分を知ることや自分を大切にしていけることの大切さが分かった
- ・ 思考や考えを変えることは難しい。しかし行動は変えられる
- ・ こちらが理解できない学習者の態度・気持ちが何を意味しているのかよく分かった。相手を変えるのではなく、まず自分の行動を変えていくことが必要だと分かった
- ・ 体験一つひとつが、考え方で良いことにも悪いことにも繋がる。悪いことと考えても方向性の上で大切なことである
- ・ 回避行動をとりがちだが、必ずしもそれが悪くないということ
- ・ 自分の否定的な感情はそのままにして、意識していることが大事だと知り、楽になった
- ・ 自分の心の動き方を知ることができた。気持ちを転換する訓練になって勉強になった
- ・ 自分の感情と向き合おうと思った
- ・ 自分の思考や感情をコントロールするのは難しいと思った
- ・ 難しすぎてわかりにくい。負の感情を理解しようと思わないこと
- ・ 内容が難しい。理解できる部分はあるが、実践は難しい
- ・ 難しすぎて分からなかった。ACT初めて聞いた。勉強不足なだけです
- ・ 難しい・難しかった・少し難しかった(5) ・ 今ひとつ分かりにくかった

3. 今、悩んでいることは何ですか？ また、今回の研修で何かヒントになることがありましたか。

- ・ 世代別で特徴があるので、指導方法に工夫がいたると思った
- ・ 職場の世代間の考え方の違いなど
- ・ 新人を指導するスタッフの意識改革。個別性なく X 世代の指導法をするスタッフへの関わり方
- ・ X 世代の指導方法。そのような指導方法をどう改善していくか
- ・ 学生・新人の指導、自身の役割について悩むことがあり、考える良い内容だった
- ・ チーム全体で新人教育をしているが、チームスタッフ間で教え方の温度差があるため難しい
- ・ 人材育成・指導に悩んでいたところがあったので、解決の糸口が見えた
- ・ 中堅看護師への人材育成に役立てる ・ 新人、異動者の方への指導の両立
- ・ 役職者として、病棟スタッフのフォロー・教育
- ・ 指導する立場として、心構えや自分自身を見つめ直すきっかけになった
- ・ 指導する立場から、どこを重視して育成していくかを知れて、今後に生かしていけたらと思う
- ・ 今の子にどう指導するか、言い過ぎてもいけないから……。言い方など勉強になった
- ・ 学生の社会的マナーが欠けていることや、新人の理解力の低さ・社会人としてのマナーが気になっていた。コロナ禍でマナーを習得できる機会が少ないため仕方がないのか。新人とも共に学んでいきたいと思う
- ・ まずは自分を変えていくことから始める ・ 新人教育。心理的安全性について
- ・ 自分が変わるためにどんな事から始めればよいか、ヒントをもらえた
- ・ 現場指導について、指導だけしてフォローができていないような気がする。今回の研修で自分の原因を探して、これから相手を理解・肯定するように心掛けてみたいと思う
- ・ 承認の大切さ・必要性。ありがたいは伝えているつもりだが、それだけでは不足している。声を掛けるタイミングや内容
- ・ 悩み：コロナ下も含めた、今後の新たな新人看護職員研修の在り方について⇒ヒント：新人の特性、及び具体的指導方法
- ・ 学生は学習しその意欲も強いが、新人（3年目）の指導に悩んでいる。ストレッチゾーンが極端に狭く、言動は無意識の防御反応なのかもと思った
- ・ 新人看護師のやる気を感じないと周りのスタッフが言っている。できていないことやミスを保棟内でコソコソと話していて、嫌な雰囲気を感じる。指導係としても自分のふがいなさを感じる。新人看護師を受け止めてできないことやミスをカバーしていくか。できるようになるためにはどうすればいいのか一緒に考え、新人が孤独にならないように支える。嫌な雰囲気を感じたらその場を離れ、雰囲気に飲み込まれない。もし新人看護師が辛いようであれば、私はあなたを信じて一緒に働きたいと思っているということを伝える
- ・ 上司が新人へ求めることが、高いこと
- ・ ベテラン Ns が新人に対して厳しい。見ているこっちが辛くなる⇒先輩 Ns へ相談を持ちかけてみる
- ・ 先輩の一言で、後輩が実践しようと思ったことを止めてしまうこと。本当に残念
- ・ 実習生への指導。考え方、世代別の特徴がよく分かった
- ・ 新人や他スタッフとのコミュニケーションの取り方 ⇒ 日々の忙しい業務をこなすだけになっていたのでは、自分や周りを大切に、思いやっっていこうと思った

- ・異動で来たスタッフや年数の少ないスタッフを含めた、病棟内でのチームワークをより良くするための手段やスキルとして活用していきたい
- ・自分を大切にしないといけないと思った
- ・自分のことを客観的に見つめて、人生の選択肢が増えるといいと思った
- ・指導方法。周りのスタッフの考えが変わらず指導しづらい
- ・学生指導・後輩指導について。接し方や指導の仕方でいい関係を作りたいが、距離感が難しい
- ・患者さんの病態生理を考え理解することが難しく、教え方に悩んでいたが、コロナ禍で十分実習ができていないため、一緒にベッドサイドに行き一緒に考えていくことが理解に繋がっていくのかなと思った
- ・新人指導について、自分の経験を言語化して新人へ伝えることが大切だと分かった
- ・相手に具体的に役割を与え（上手に具体的に伝えることを意識してみる）、役割意識をもってもらえるように関わりを持ってみようと思う
- ・新人や学生に対して分かりやすくどう伝えるか、注意する時どのように伝えればモチベーションが下がりにくいかな
- ・後輩の話を書くときは手を止める ・学生・新人に対してどう声かけをするといいか
- ・ゆっくりで自信のない男性Nsを育てているが、リフレーミングが参考になった
- ・自信のない新人への関わり⇒できていることを認める。可能性を信じる。新人の目線で物事を捉える
- ・力の要る後輩に対してどう教えていくか⇒一つずつしっかり褒めたり振り返りを行う
- ・指導する立場だが、関わり方についてヒントとして学んだ
- ・後輩との関わり方、家庭での子供や夫との関わり方にたくさんヒントをもらえた
- ・新人が悩んでいること、接し方に対してどう関わりを持っていくべきか。研修を活かしていきたい
- ・新人にも新人なりの悩みが多くあったことが分かった。承認とリフレーミングの心を持つことで、お互いがストレスを軽減し、余裕を持ちながら業務にあたるができる
- ・コロナ禍で十分に実習ができていない学生の思いを理解して、実習生の指導にあたりたい
- ・コロナ禍で実習生がどう感じているか、アンケートなどで少し知ることができた
- ・教育体制が整っていない（中途Nsも含め）。新人のスタッフ間の情報共有ができていない
- ・言葉で伝えたことが伝わった感じがしない（業務も、患者さんのことも）。自分の感じたことを共有してもらうことが難しい。⇒相手に効果的な伝え方が必要で、自分の考え方を改めて、こちらが合わせていく。繰り返しやってみせる
- ・人に伝えるのが難しいとよく思っていたが、相手が受け取れる言葉やイメージできる伝え方ができていなかったのだとヒントになった
- ・一つのことで、考え方を変わると見えてくるもの、大切にしていけることが違うと考えさせられた
- ・ネガティブな考えが多いので、ACTの考え方でポジティブに考えられるような気がした
- ・心理的柔軟性の大切さ。人間には感情があるから、単純なことも難しく考えすぎるのかもしれない。多様な考え方のコツを知ること、もっと気楽に受け止めて次へ進めることができるのかなと感じた
- ・役職としての感情のコントロール（スタッフ・上司に言われても何も言い返せないことがある）
- ・今後の仕事の方向性について悩んでいた。少し自分を振り返るようにしていけたらと思う
- ・これからの仕事について。短期的に見るのではなく、長期的(結果)に考えることが必要と思った
- ・仕事の続け方。職場の変更⇒自分の気持ちを大切にしながら考える

- ・ ACT のバランス、捉え方
- ・ モチベーションの保ち方
- ・ 能力が足りない（技術的にも経験的にも）。承認&リフレーミング
- ・ 家庭内。自分を大切にいられること
- ・ 自分の立場を考えると、人を育てることの難しさ
- ・ 新人の気持ちを十分に分かってあげられない
- ・ 教える側の迷いがまだあって自分自身に自信がないことが悩み
- ・ 中堅と言われるようになったが、仕事に自信がない
- ・ 業務が忙しいと、自分に余裕がなくなってしまう
- ・ 今の世代の子は業務の中で何が分かっていないのか、かわっていると思うことがわかっていないと言われたことがある
- ・ ない・特にない(4)

4. 今後勉強したいこと・希望する研修内容等、また希望する講師もあればご記入ください。

- ・ 本日の 2 名の先生方の研修をまた受けてみたい
- ・ 内藤知佐子先生の講演(4)
 - ・ 話が分かりやすかったので、また研修があればいい
 - ・ もっと聞いてみたいと思った
 - ・ 分かりやすかったので、別の講義があれば受けてみたい
- ・ 今後もコロナ禍での実習（臨地）が変化していくので、その都度どのような学生の思いや状況なのか、経過を追って情報を知りたい。またその対応、現場で求められることを知りたい
- ・ 新人研修について、もっと研修を受けたい
- ・ ACT のことを自分なりに学び直し、もう一度 ACT の研修に参加したい
- ・ ACT について具体的に学びを深めたいと思った
- ・ ACT マトリックスカードを使った研修
- ・ ACP、平穏死。長尾和宏先生
- ・ 後コロナ下での Ns の精神的ケアについて
- ・ コーチング
- ・ 輩育成やメンタルヘルスについては今後も定期的に学んでいきたい
- ・ 災害時、病棟 Ns がしなくてはいけないことを具体的に聞きたい
- ・ リーダーシップの取り方等あればと思う
- ・ 心電図の見方
- ・ 自身の向上を目指した資格をとりたい

5-①. 今回の Web 開催はいかがでしたか？ 参加された感想やご意見を、ぜひお聞かせ下さい。

- ・ 良かった・聴講できてよかった(3)
- ・ 参加しやすくてよかった
- ・ 院内・職場で受講できるのが良かった(2)
- ・ Web もいいなと思った
- ・ トラブルもなく Web で受講できて良かった
- ・ Zoom は初めてだったが、支障なくスムーズに参加することができた
- ・ Web 開催は会場への行き来の時間が短縮され、とても助かっている
- ・ 移動せず職場で受けられることは、時短でありがたい
- ・ 聞こえやすく、移動時間がないのでとても良かった
- ・ 勤務先で行える（視聴できる）ものは初めてだがよかった
- ・ 良かった。遠くの会場でなく職場で受けられたことも良かった
- ・ とても楽しかった。出かけなくても自分の病院で受講できてよかった。また参加したい

- ・ 会場に行かず勤務先で受講できるので、機会があればまた受講したい
- ・ 遠方に行かなくても貴重な研究会の講演を聞いて良かった
- ・ 研修の前後で少しでも業務の手伝いができたので、病院でできたのは他のスタッフも助かると思った
- ・ 今の自分の悩みとコミットしていて、とても参考になった。Web 研修は移動時間の短縮にもなって、遠方からでも参加できるので良いと思った
- ・ じっくり ppt を見るのができてよかった
- ・ グループワークもあり講師の先生方のお話も分かりやすくとてもよかった
- ・ 話し合うタイプのワークが多いと、参加していてやりがいがある
- ・ グループワークなどで他施設の意見や視点を聞く機会もあると嬉しい
- ・ グループワークの時間をもう少しできたら良かったと思う
- ・ 声が聞き取りやすく、初めての Zoom でのグループワークは楽しかった
- ・ Web でもグループワークができたり、コメントができたり、楽しかった
- ・ チャットも活用でき、楽しく研修を受けることができた
- ・ Web だと聞きにくさや分かりにくさがあると思ったが、そんなことはなく聞きやすかった
- ・ 全ての受講者が参加できるため、いろいろな方の意見を聞くことができて良かった
- ・ いろいろな方の意見が聴けて参考になった
- ・ Web でもコミュニケーションがとれるので良いと思った (QR コードで参加 good)
- ・ 参加者の顔が見れて表情が分かった
- ・ Zoom 研修は初めてだったが、分かりやすく参加しやすいと感じた
- ・ 分かりやすかった。初めての Web 講義で、チャットのやり方も分かり次回から生かせそう
- ・ Zoom 研修に慣れていなかったため操作が難しかったが、チャットでスムーズに対応して下さりありがとうございました
- ・ とても良い研修会だった。Zoom 研修だったが問題なくスムーズな進行だった。ありがとうございました
- ・ Web とは思えない楽しい研修だった。少人数でよかった
- ・ Web でも分かりやすい研修だった
- ・ 初めて Web 講義を受けたが、楽しく講義をして下さったので、時間も早く過ぎたように感じた
- ・ Web 開催に、集中できるかなと思っていたが、とても興味深い内容で集中して参加できた
- ・ Web だと意見を直接求められないので、緊張せずに参加できた
- ・ Zoom に不慣れなためグループワークに手間取った
- ・ 3人でグループワークの際に、Zoom なので話しにくさがあった
- ・ チャットやグループワークなど慣れていないと戸惑うと思った
- ・ 個人ワークはできるが、グループワークは限られた時間では難しいと感じた
- ・ Zoom 利用が不慣れでグループワークなど戸惑った。講師との距離は近く感じてよかった
- ・ 集中できる環境であれば、落ちつき集中して聞くことができたと思う
- ・ Zoom を使った研修会の参加は初めてで新鮮だった。ただ操作がわからずチャットができなかったのは少し残念だった
- ・ 講師の方は反応が見えづらいので、やりにくいだろうなと思った
- ・ これからもあると思うので、操作等覚えなれないといけないと思った
- ・ 内容も分かりやすく、勉強になり良かった。ネット環境が一時的に悪くなってしまったので、やはり直接会場で話せるのが 1 番いいなと思った

- ・ 実際に研修が聞ける方が分かるような気がした
- ・ 分かりやすかった(3)
 - ・ すごく分かりやすく、大変勉強になった
- ・ 勉強になった
 - ・ おもしろかった。とても勉強になった
- ・ とてもおもしろかった
 - ・ とても楽しく参加でき、参考になった
- ・ 楽しく学べる講演だった
 - ・ 良かった。今後に生かしていきたいと思う
- ・ 自身を見つめ直すよい機会になった
- ・ 光定先生の講演をもう少し時間を掛けて詳しく聞きたかった
- ・ 今回習ったことを実践で（病棟のみんなで）使えるようにしたいと思った
- ・ 難しかったが今後の課題が明確になった
 - ・ 少し早口のように感じた

5-②. Web 開催はどこで参加されましたか。

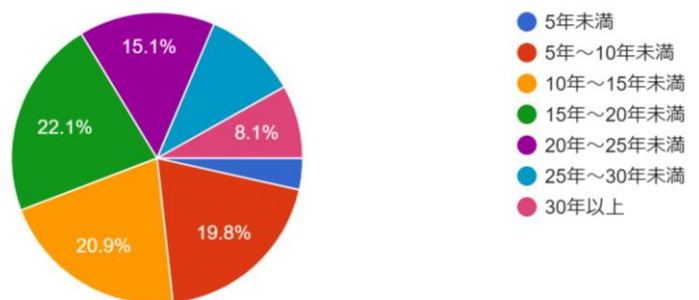
- a. 受講会場（岡山国際交流センター）（ 5名）
 b. 病院（勤務先）（ 70名） c. 自宅（ 11名）

6. 今回の研究会に参加した動機はどれですか？

- a. 病院から「行きなさい」と言われて。（ 56名）
 b. 自分から積極的に出席した。（ 18名）
 c. その他（ 10名） 未記入 2名
- ・ 上司・看護部長・所属長・師長からの勧め(5)
 - ・ 代理（興味ある内容だったため受けさせていただいた）
 - ・ 病院からすすめられ自分で受講を決めた
 - ・ 病院から勧められて自分で希望した
 - ・ 病院からの声かけに喜んで出席した
 - ・ 病院から声が掛かったため

【年 齢】

- 20歳代（ 8）
 30歳代（ 34）
 40歳代（ 28）
 50歳代（ 14）
 60歳代（ 0）
 未記入（ 2）



【勤務年数】

- ～5年未満（ 2）
 5年～10年未満（ 17）
 10年～15年未満（ 18）
 15年～20年未満（ 19）
 20年～25年未満（ 13）
 25年～30年未満（ 9）
 30年～（ 7）
 未記入（ 1）

